

施策評価調書(3年度実績)

				施策コード	I-5-(5)			
政策体系	施策名	健全な食生活と地域の食をはぐくむ食育の推進	所管部局名	生活環境部			長期総合計画頁	55
	政策名	安全・安心を実感できる暮らしの確立	関係部局名	生活環境部、福祉保健部、農林水産部、教育庁				

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	健全な食生活を実現できる県民の育成	魅力あふれる「地域の食」づくり	食をはぐくむ環境との共生

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		3年度			6年度	目標達成度(%)				
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125
i 朝食を毎日食べる児童生徒の割合(小5)(%)	①	H26	90.0	93.5	90.4	96.7%	95.0					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i 概ね 達成	高校・大学と連携して、朝食喫食率の向上を図るため、朝シャキーン実行委員会を中心に、夏休み食育講座の開催や先進的な取組事例を学ぶなど、学生同士の連携を深めることで、食育イベント等での効果的な普及啓発につながり、目標値を概ね達成した。	概ね 達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭や学校栄養職員が、給食の時間や教科等の指導において、「バランスのよい食事」や「朝食の役割」など、食に関する指導を行った。(小学校5年生の朝食摂取率 R3年度:90.4%) ・児童生徒の肥満の改善・予防を図るため、軽スポーツや食育など親子で行う体験的な内容に取り組み、家庭での実践意識の向上につながった。 ・学校給食の食育担当者やおおいた食育人材バンク登録者等食育活動者を対象とした研修会を実施し、学校現場における食生活改善や新たな生活様式に対応した食育を推進した(1回、50名)。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・直売所の魅力や機能向上に向けて、直売所のレイアウト変更(2店舗)や、地産地消PR資材の作成(6店舗)等の支援を行った結果、店舗によって、売上や集客が増加するなど、農林水産物の消費拡大や中山間地域の活性化等を図った。 ・郷土料理等を作ることができる食育動画を作成・配信し、その動画を見ながら実践できる県産食材セットを100家庭へ送付した。家庭での食育を推進するとともに地域の食材に触れ実際に食べることにより、県産食材を活用し、食文化の普及を図った。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域で「えらぶ・つくる・たべる」食育体験ツアーを実施し、参加者が実際に生産・収穫体験から調理実習、実食等まで行うことで、「いのち」をいただいていることへの理解促進や感謝の気持ちの醸成に繋がった。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(3年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	スクールヘルスサポート事業	110.5	31
①②③	次世代へつなぐ食育推進事業	111.3	106
②	直売所を拠点とした中山間地域農業推進事業	99.0	193

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第1回大分県食育推進会議 (R3.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等は、1回の現地研修で終わりにしてしまうのではなく、生配信やアーカイブ配信を行う等オンラインを上手く活用し、広く長いスパンで発信して欲しい。 ・動画を作成する際は、目的を吟味し気持ちを動かすような視点が必要。調理実習等実体験を行う機会も定期的に設け、自然に力が身につくような仕組みが重要。 	<p>○朝シャキーン実行委員会(R3.6、R3.11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生への啓発や講座は、同世代から話しを聞いたり働きかけを行ったりした方が刺激がありよいと思う。 ・食生活スタートブックは電子媒体の方が見てもらえると思う。ただ、電子媒体の場合はスマホで見やすいように文字数を減らし、チラシ等でさらに啓発ができると良い。
---	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の肥満対策を強化するため、家庭と連携して、支援計画に基づいた個別支援を進めるとともに、研修会や親子すこやか教室を実施することで、家庭での実践につなげていく。 ・第4期大分県食育推進計画に基づき、食育に関する事業を効果的に実施するため、関係部局等と連携した「おおいた食の日」などのイベントや食育の普及啓発を推進する。 ・直売所の魅力向上のため、店内レイアウトの変更や直売所が行う地産地消PR資材作成等の取り組みを支援する。 ・朝シャキーン実行委員会で食生活スタートブックの作成や簡単朝食メニューを開発し、これから新生活をスタートさせる若者世代へ啓発を行う。 ・県産農産物の食育動画を作成し、その県産品が学校給食で提供される日に併せて動画を視聴。地域の食材や食文化を知り、県産農作物の学校給食活用率向上を図る。